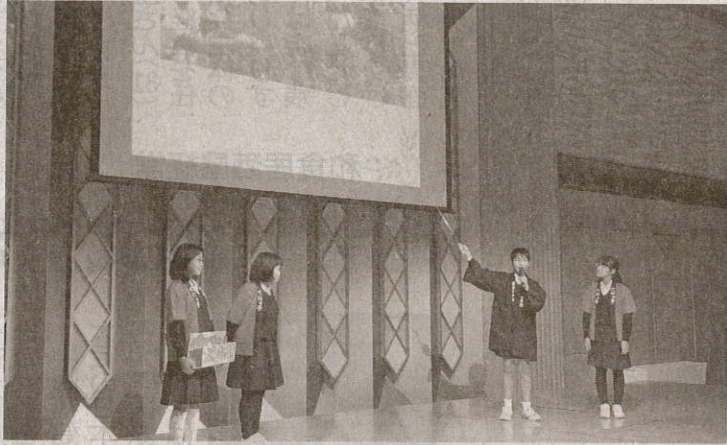


1年間の「頑張った」報告

高松 少年ボランティア発表会

観光ガイドのボランティアを演じて紹介する児童ら―高松市



高松市内の小中学校の児童・生徒が学校や地域などで取り組んでいる奉仕活動を紹介します。第16回「少年ボランティア発表会」が26日、同市内のホテルで開か

れた。14校（小学11校、中学3校）の約190人が、1年間に取り組んだボランティア活動を報告、感想などを発表した。

児童・生徒らは「だれかが喜んでくれることが自分自身の喜びや心のすがすがしさにつながると感じました」、「自分で考え、行動することを心がけて取り組んでいる」などと感想を話し、会場から盛んな拍手を受けた。

ニスクラブ（佐野正会長）が主催。同クラブでは毎年春に各校からボランティア活動の提案を受け、それぞれの活動に対して助成している。発表会は1月下旬に行っている。

発表したのは、川添小、屋島小、檀紙小、十河小、高松第一中、国分寺南部小、牟礼南小、花園小、亀阜小、鶴尾中、古高松小、栗林小、一宮小、協和中（発表順）。大島にある庵治第二小は悪天候のため欠席した。

各校とも、あいさつや清掃活動、牛乳パックやアルミ缶回収など取り組んでいるボランティア活動を紹介。中には観光ガイドボランティア活動を実演した学校や、今年から活動を全校に広げたことを報告した学校もあった。

児童・生徒らは「だれかが喜んでくれることが自分自身の喜びや心のすがすがしさにつながると感じました」、「自分で考え、行動することを心がけて取り組んでいる」などと感想を話し、会場から盛んな拍手を受けた。

ボランティア

大きな達成感

高松 小中学生が活動発表

学校で取り組んでいる奉仕活動を発表する第16回少年ボランティア発表会（高松キワニスクラブ主催）が26日、高松市内のホテルで開かれ、参加した市内の小中学生がボランティア精神の大切さなどを訴えた。



に「あいさつ隊」や「歌声広め隊」の活動などを紹介し、「ボランティアのおかげで、勉強にもすがすがしい気持ちで取り組める」と活動成果を報告した。

屋島小は、5年生が総合的な学習の一環で行った屋島の魅力をPRする「ガイドツアー」の取り組みを実演を交えて説明し写真。観光客が自分たちの話を真剣に聞いて喜んでくれたことに、達成感や充実感を感じたことなどを伝えた。

もたちにボランティアの心を育ててもらおうと、毎年開催。同クラブは今春、発表会に参加した市内の小中学校計15校に活動への助成金3万円を贈っている。

今回、川添小と屋島小の2校が初めて参加。川添小は、全校児童に気持ちよく一日をスタートしてもらったために実践している「こ